



↑ 講義を真剣に聞く様子

2/24 雄武町民大学 北海道の家庭菜園を学ぶ

町民センターで「町民大学」が開催され、家庭菜園家のラックス (racss) さんがオンラインで講師を務めました。講座では「春から始める北海道の家庭菜園」をテーマに、「収穫の喜び」「食の意識の変化」「食生活が豊かになる」「自然と触れ合う癒し」といった家庭菜園の魅力を紹介したほか、育てやすい野菜、山菜の育て方などについてもわかりやすく説明してくれました。また、参加者は「たくさん付くアブラムシの対処法」や「じゃがいもはカットしたほうがいいのか」などと、熱心に質問していました。

3/7 風の子児童センター 6年生を送る会で交流

児童センターでは「6年生を送る会」が開催されました。4月から中学生になる6年生に、楽しいひとときを過ごしてもらうため、多くの児童が参加しました。会では「たからさがし」や「〇×クイズ」が行われ、館内には終始にぎやかな声が響きました。6年生は後輩たちとの交流を楽しみながら、笑顔あふれる時間となりました。



↑ アーチを作って6年生を送り出す様子

2/26 認知症サポーター養成講座 認知症への理解を深める

のびのび雄遊ランドにおいて、雄武町商工会と雄武町地域包括支援センターの共催による「認知症サポーター養成講座」が開催され、11名が参加しました。講座では、地域包括支援センター職員が講師となり、認知症の主な症状や接し方、予防に関する講話が行われました。また、認知症の方への適切な対応を学ぶ事例映像も視聴し、参加者からは「サポーターとしての役割がよくわかった」「新しい知識を得られた」などの声が寄せられ、認知症への知識をさらに深めていたようでした。



↑ 真剣に耳を傾ける参加者



↑ 卒業証書授与の様子

3/18 雄武小卒業式 春の門出を祝う卒業式

この日、雄武小学校では卒業証書授与式が行われ、22名の児童が学び舎を巣立ちました。式では、一人ひとり壇上に上がり、保護者や在校生に向けてこれからの抱負を述べ、校長先生から卒業証書を受け取り、在校生からは、あたたかな門出の言葉や歌が贈られました。卒業生たちは、会場からの大きな拍手に送られながら、新たな一歩を踏み出しました。また、13日に雄武中学校、24日に沢木小学校でも卒業証書授与式が行われました。

3/7 舞灯雄武ビアパーティー 躍動のステージ賑わう

町民センターでは、地元のよさこいチーム「舞灯雄武」が主催するビアパーティーが開催され、町内外から約450人が来場しました。会場では、「舞灯雄武」を含む「恵庭紅鴉」「夢想連えさし」「室蘭百花繚蘭」の4チームによる迫力ある演舞が披露され、観客を大いに魅了しました。また、アイドル「ちいな」さんによるライブステージも行われ、会場の熱気はさらに高まりました。イベントの締めくくりには豪華景品が並ぶ抽選会が行われ、番号が読み上げられるたびに会場から歓声やため息が上がり、最後まで大いに盛り上がりました。



↑ ステージと一緒に盛り上がる様子



↑ 高橋町長 (左)、中村代表取締役社長 (右)

3/26 カーボンニュートラルの実現に向けて 連携協定を締結

町では、「2050年カーボンニュートラル(脱炭素社会)」の実現を目指し、環境負荷の低減と持続可能な地域づくりを推進しています。この日、森林由来のカーボンクレジット創出に関する実績を有している株式会社ステラグリーン代表取締役社長中村彰徳氏と「カーボンニュートラルの実現に向けた連携協定」を締結しました。本町が持つ資源を活用することで、地球温暖化対策の加速化と産業活性化の両立を図ります。